

3D パースで表現する見せ梁の配置方法

文書管理番号：1156-02

Q. 質問

吹き抜けに梁を渡した表現にしたい。

天井勾配なりに梁を配置し、3D パースで表現したい。

A. 回答

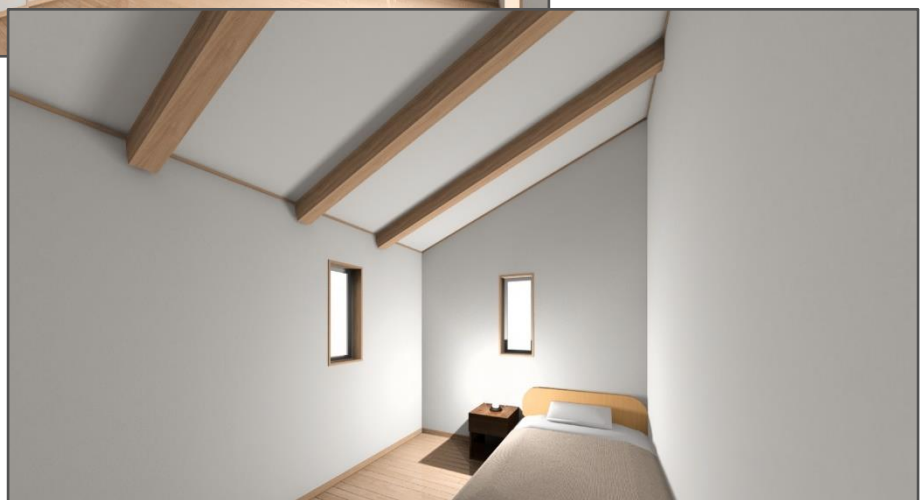
3D パースで梁を表現するには、プラン図の「部品」を利用する方法と天井伏図の「竿」を利用する方法があります。

吹き抜けに梁を渡す場合や、庇に梁を表現したい場合は「部品」、勾配天井に勾配なりに梁を表現する場合は「竿」を使用して入力すると便利です。

ここでは、「部品」や「竿」を配置して、3D パースで梁として表現する方法を説明します。



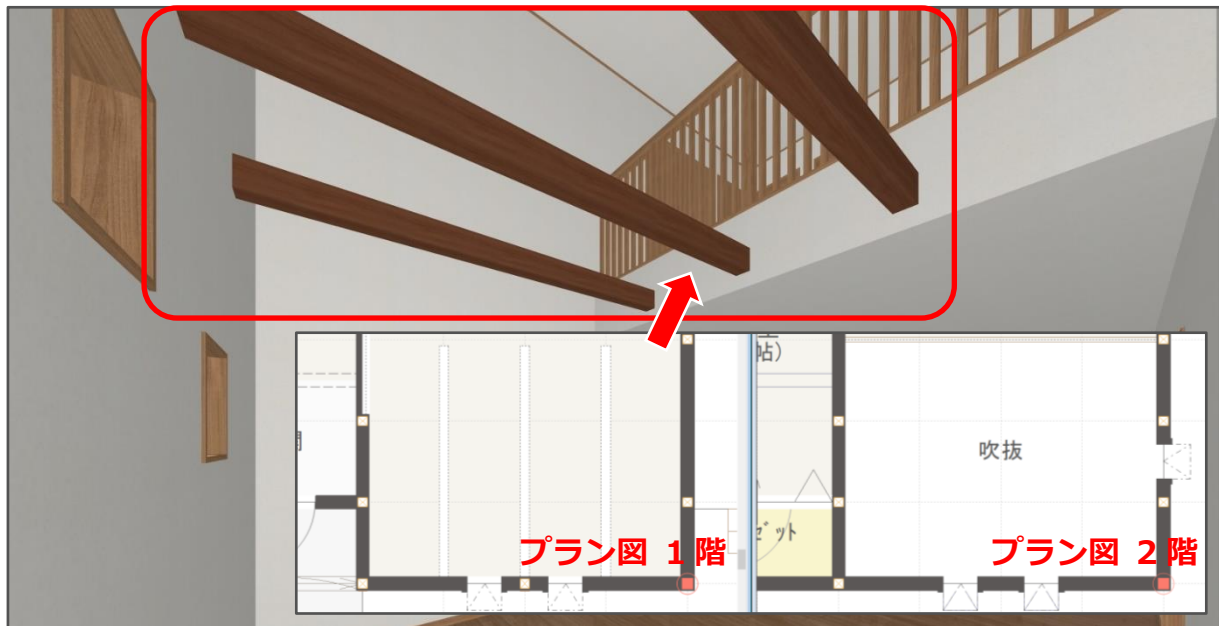
← 吹き抜に梁を表現



勾配天井に梁を表現 →

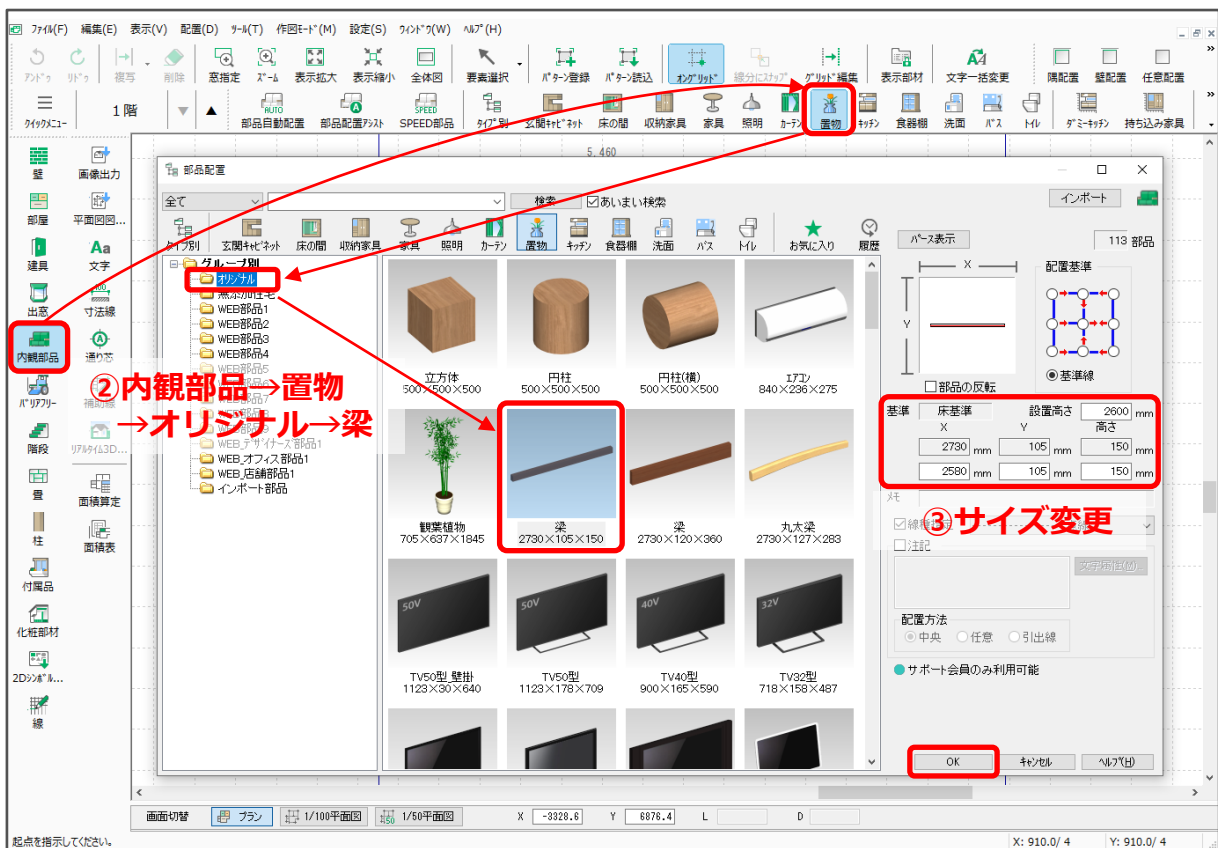
操作手順：部品を利用する場合

ここでは、リビングの一部に吹き抜けがあり、そこに梁を渡した表現にします。



① (プラン図)で1階を表示


② (内観部品)の (置物)から、オリジナルグループにある「梁 2730×105×150」を選択

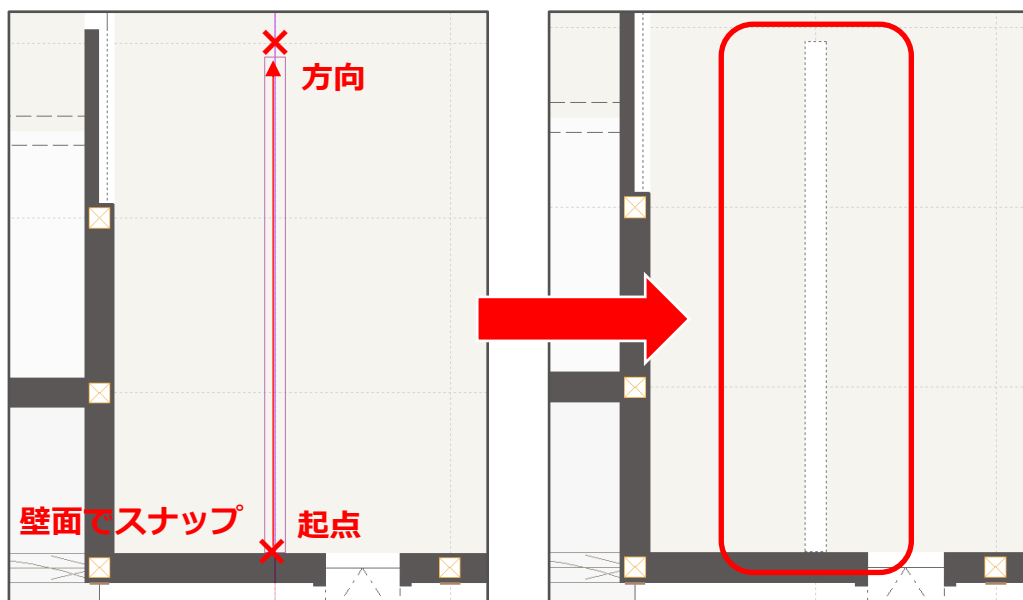


③ 梁のサイズを変更し、「OK」をクリック

- * ここでは、X : 2580mm Y : 105mm 高さ : 150mm 設置高さ : 2600mm とします。
- * 設置高さは配置する部屋の床を基準とし、床から部品の下端までの高さとなります。


④ 配置したい位置で起点一方向をクリック

- * 初期設定では作図モードは  (壁配置) になっているため、壁面にスナップします。



- * 内観部品の梁が 1 階に配置されます。

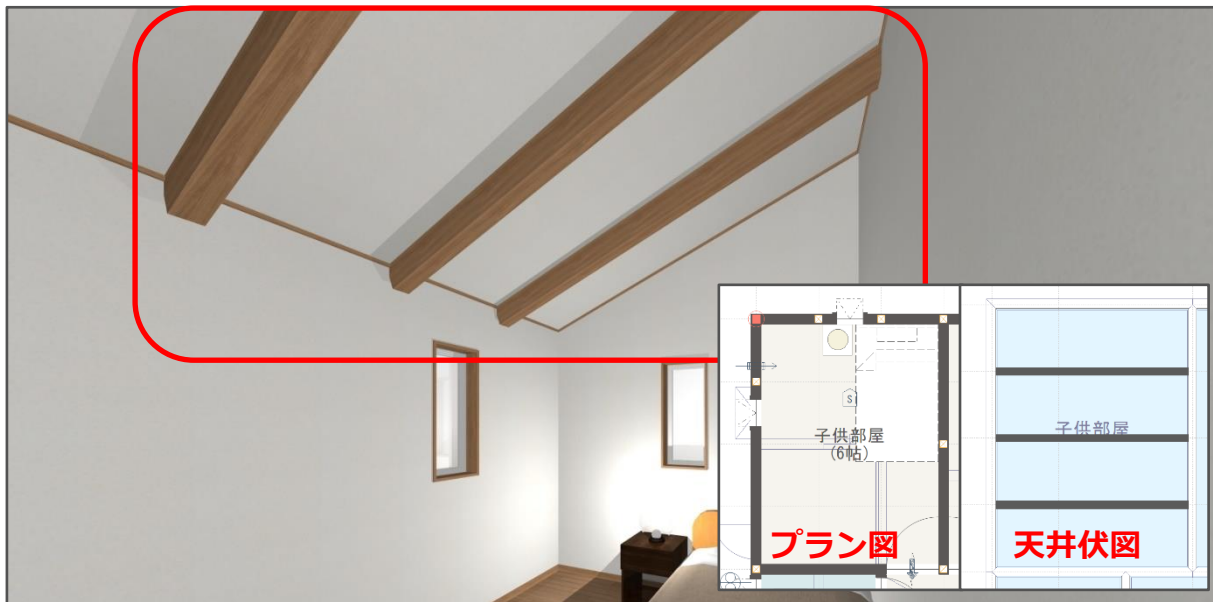
⑤ 同様に、残り 2 本も位置を決めて配置

- * そのまま続けて配置できます。
- *  (3D パース) で梁が表現されます。



操作手順：竿を利用する場合

ここでは、子供部屋の天井が勾配天井になっており、天井の勾配なりに梁を配置した表現にします。



* 勾配天井の設定方法については、こちらをご覧ください。

[\[1049\] 勾配天井の作成方法](#)

【注意】

竿は天井面に接する表現となるため、天井から離して表現することはできません。

天井から離れた位置に梁を表現する場合は、P.2 からの操作手順「部品を利用する場合」のように、部品を利用して配置します。


① (クイックメニュー)またはメインメニューから (天井伏図)を開く



② 「設定」⇒「竿サイズ」で、配置する梁のサイズを設定

* ここでは、「W：幅 105mm」「H：高さ 150mm」に設定します。



③ 「OK」 をクリック

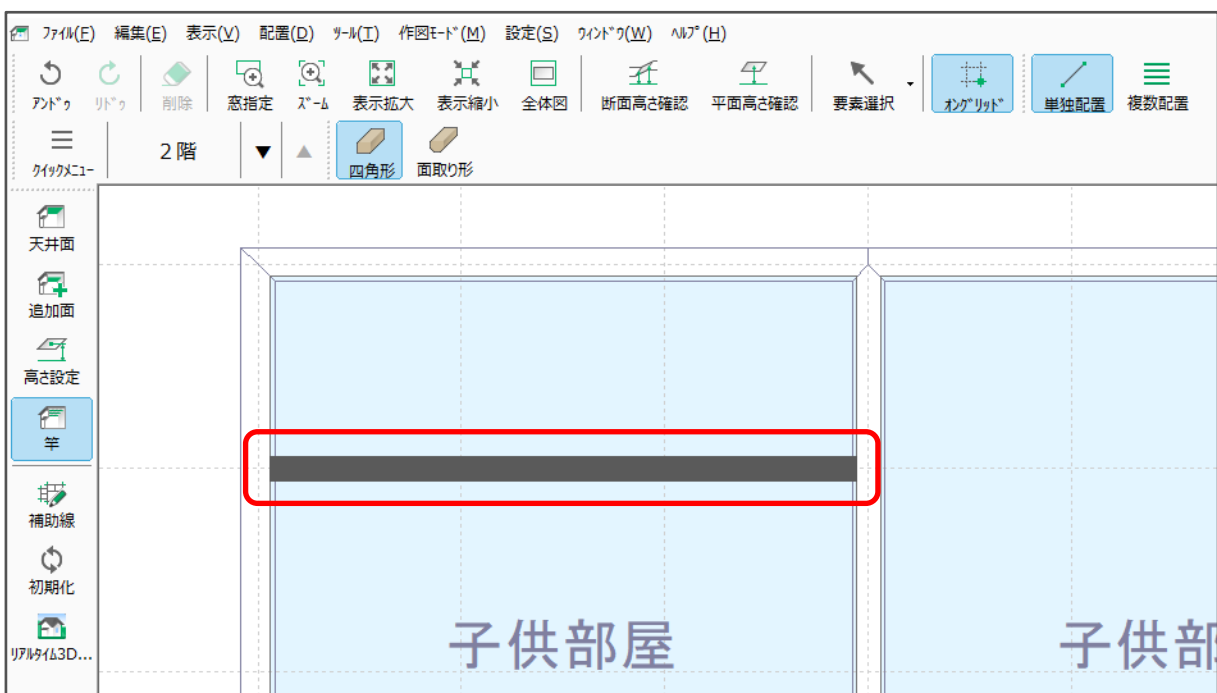
④  (竿) をクリック

* 初期設定では  (四角形) が選択されており、作図モードは  (単独配置) になっています。


⑤ 配置したい位置で、起点—終点をクリック

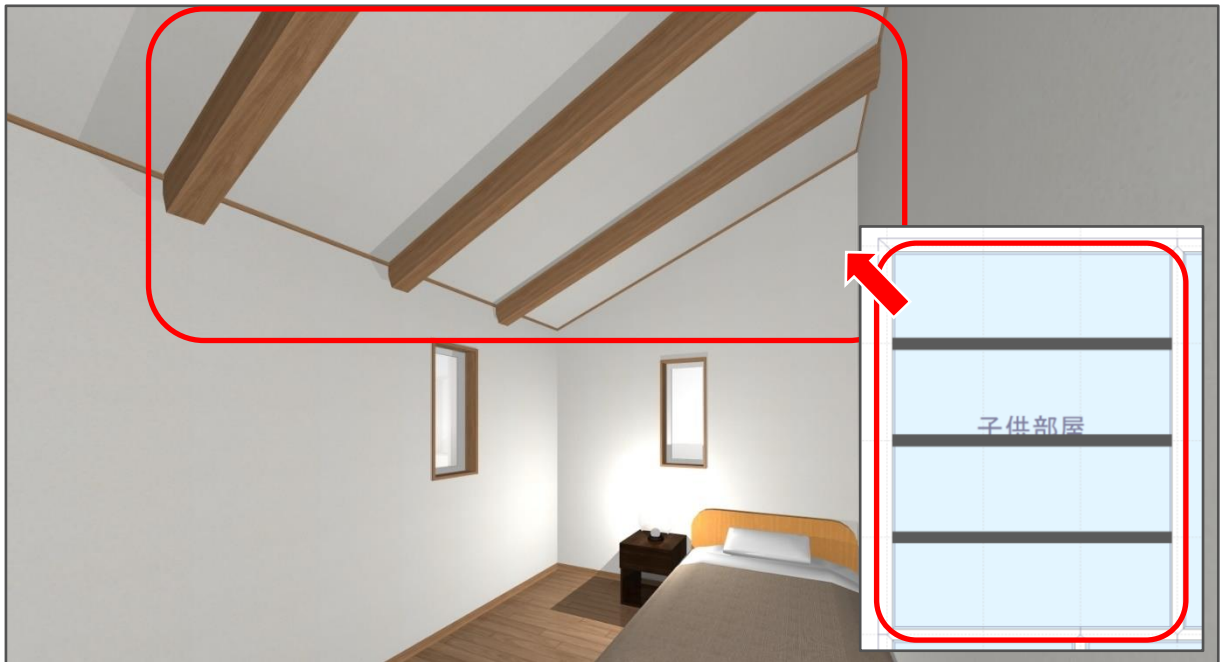


* 設定したサイズの竿が配置されます。



⑥ 同様に、残り 2 本の竿も位置を決めて配置

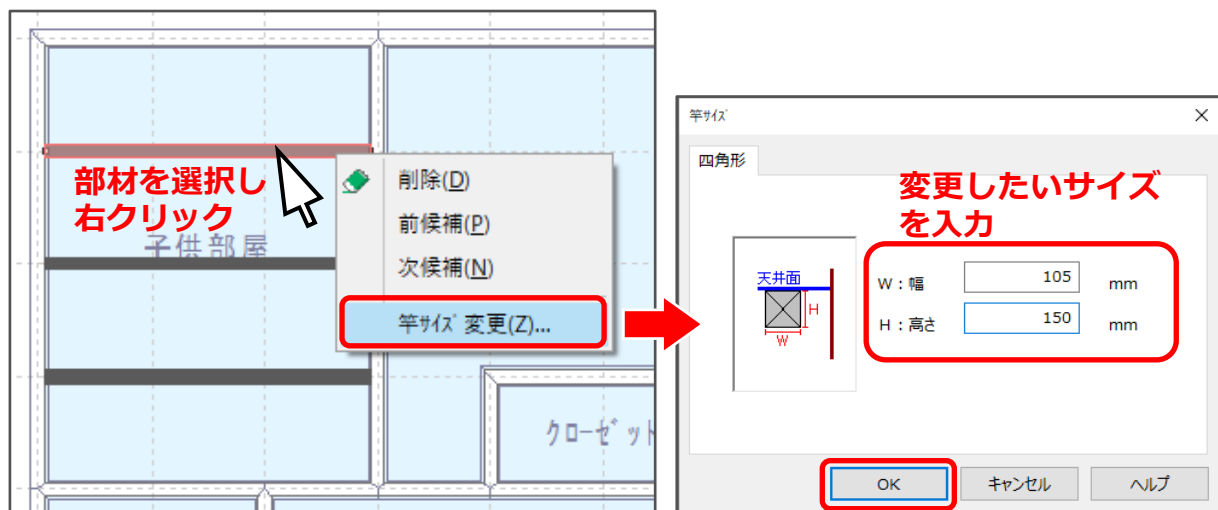
- * そのまま続けて配置できます。
- *  (3D パース) で勾配天井に沿った梁が表現されます。



【参考】

入力済みの竿のサイズを変更する場合は、変更したい竿を選択し、右クリックメニューの「竿サイズ変更」から変更できます。

複数の竿を一括してサイズ変更することはできませんので、1本ずつ行ってください。



参考：竿の複数配置

天井伏図の「竿」は、複数の竿を一括して配置することもできます。

- ① (竿)の (四角形)をクリックし、 (複数配置)をクリック

* 複数配置の設定画面が表示されます。

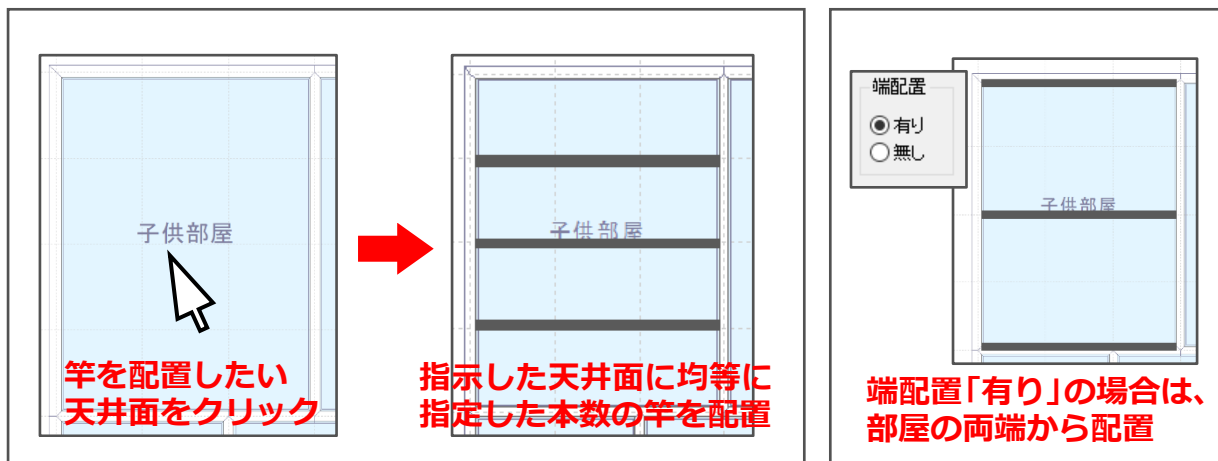


- ② 本数などを設定し、「OK」をクリック

* ここでは、本数「3」、角度「0」、端配置「無し」、
辺指示のチェックは外します。

- ③ 竿を配置したい部屋の天井面をクリック

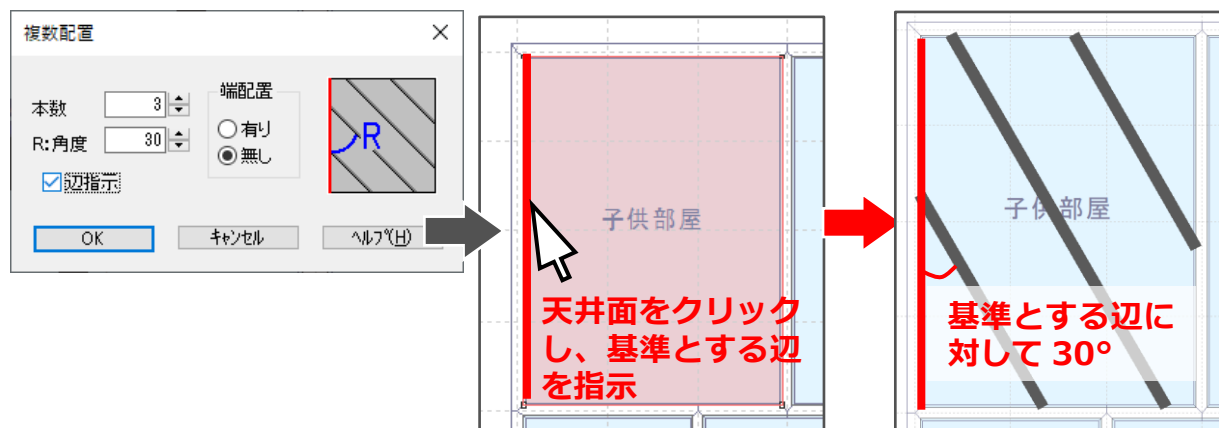
* 表示されている方向に対して水平（角度 0 度）な竿が、3 本配置されます。



【参考】

複数配置の設定画面で辺指示に✓を入れた場合、基準とする辺により竿の配置方向が決まります。

例えば、辺指示に✓を入れ、角度を「30」とした場合、以下のような配置になります。

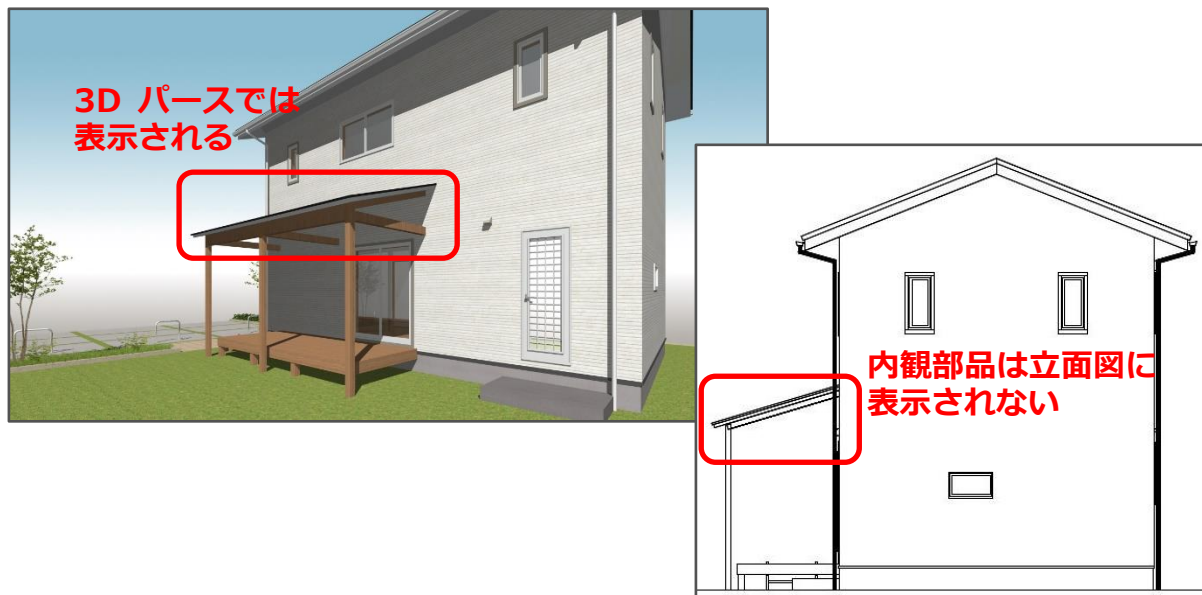


参考：外部に梁を配置する場合

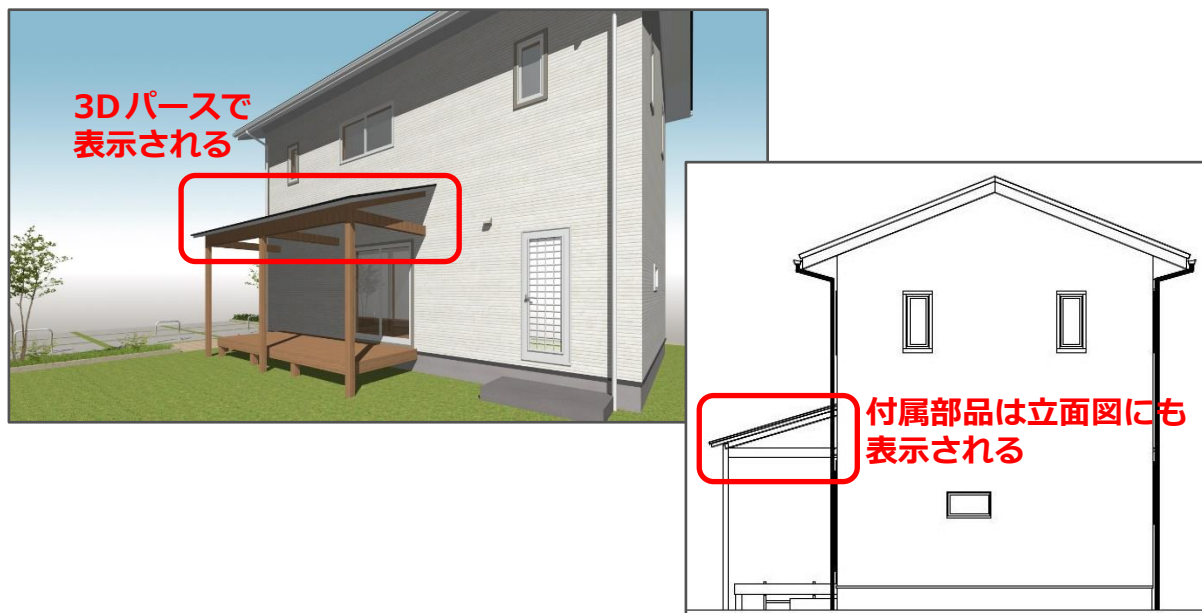
テラスの底に梁を配置するなど、外部に梁を表現したい場合は「付属部品」の汎用部品を利用して配置します。

内観部品を利用すると、3D パースでは表示されますが、立面図に表示されません。

【内観部品の梁を配置した場合】



【付属部品の立方体を配置した場合】



立面図に表示される部品については、こちらをご覧ください。

[\[1268\] 立面図に表示される部品について](#)